

## 第7回秦野斎場施設検討委員会要旨

### 1 日 時

平成27年1月28日（水） 午後1時30分から3時10分まで

### 2 場 所

秦野市伊勢原市環境衛生組合会議室  
（はだのクリーンセンター3階小会議室）

### 3 出席者

- (1) 委員（7名）
- (2) 事務局等（5名＋設計事業者2名＋火葬炉事業者2名）

### 4 内 容

#### (1) 前回議事録の確認等

- ・ 公募型プロポーザルにより選定し、秦野斎場増築改修事業の火葬炉事業者に決定した「株式会社宮本工業所」を紹介した。
- ・ 第6回秦野斎場施設検討委員会の議事録について、2月6日（金）までに確認をいただくことで了承された。  
また、それ以降に議事録を本組合ホームページに掲載することについて了承された。

#### (2) 議題

##### ア 平面計画等について

事務局から、第6回委員会において意見のあった事項について、その内容等を説明し、次の事項について質疑応答等があった。

- ・ 委員から、前回植栽のあった1階右側が生垣に変更されている理由について質問があり、事務局から植栽ではメンテナンスの車両に枝が触れるため、約5メートルの高さの白樫で目隠しになる生垣を検討していると回答した。
- ・ 委員から、駐車場の四角い点線は何を意味するのかとの質問があり、事務局から、既存の火葬棟の位置を示したものと回答した。
- ・ 委員から、待合室の窓はどのような形なのかとの質問があり、事務局か

ら、待合室の中から美しい風景がしっかり見えるよう大きなガラスであり、かつ、自然通風が取れる工夫をしていきたいと回答した。

- ・ 委員から、サービスエリアの職員はどのトイレを使うのかとの質問があり、事務局から、トイレについては兼用することを考えていたが、会葬者用の給湯室は各待合室に確保しているため、9平方メートルの給湯室をトイレとする方法も視野に入れて検討していきたいと回答した。
- ・ 委員から、収骨室を自動ドアにする場合のコストについて質問があり、事務局から、手動にした場合での問題点も少ないため、コストを考慮しながら最終的な仕様を検討していきたいと回答した。

## イ 屋内外デザインコンセプト及び設備・構造概要の検討について

事務局から、屋内外デザインコンセプト及び設備・構造概要について説明し、次の事項について質疑応答等があった。

- ・ 委員から、地場産のものを使っていくよう提案があったが、供給が少ないため検討するよう。また、軒裏の木材利用、屋上庭園や緑化バルコニーなどもメンテナンスが短期間、低コストでしっかりとできるような材料を選んで欲しいとの要望があった。
- ・ 委員から、構造種別をRC造とS造混合で考えているとのことだが、継ぎ手には問題がないのかとの質問があり、事務局から、継ぎ手については課題としており、混合箇所が出ないような工法で進めていきたいと回答した。
- ・ 委員から、重要度係数が1.25となっているが、火葬場は大災害時に最も機能を発揮しなければならない施設であるので、1.5ではなく1.25としたしっかりとした根拠付けをしてほしいとの要望があった。
- ・ 委員から、消火栓や防火水槽は設置しないのかとの質問があり、事務局から、図面には記載ないが、門やエントランスホールに近い場所に設置し、消火活動しやすいような検討をすると回答した。
- ・ 委員から、雨水利用等については水腐れの懸念もあり近年では使われなくなってきたがどうなのかとの質問があり、事務局から、洗浄水使用に絞れば技術的に可能であると回答した。
- ・ 委員から、太陽光パネルのある屋根面が東側に向いているが、効果があるのかとの質問があり、事務局から、若干南に振れた東向きなので効率が落ちる位置にはならないと考えているが、検討していくと回答した。

- ・ 委員から、メンテナンスのためにも照明器具を統一してもらいたいとの意見があり、事務局から、出来る限り種類を合わせられるよう選定していくと回答した。
- ・ 委員から、電気とガスで熱源の比較をしているが、ガスは都市ガスなのかプロパンガスなのかとの質問があり、事務局から、双方のガスで比較検討を進めていると回答した。

### (3) その他

事務局から、2月9日（月）に予定している「厚木市斎場」と「茅ヶ崎市斎場」への視察の際、車中において本委員会の内容を組合議会議員に報告したいと提案し、委員から、要点をまとめたものを報告することで了承された。